

病院名・診療科等	福島県立宮下病院(地域医療プログラム)
担当責任者	院長 浅野 宏

概要／方針等

当院は昭和26年に当時無医地区であった地元からの要請に応え開設。昭和44年に病院庁舎を移転し、現在はベッド数32床の小規模病院です。診療圏は三島町を中心に、柳津町、金山町、昭和村の奥会津4町村であり、高齢化率は高いところで60%を超える地域で、日本の将来人口像の先端を行っています。

主な診療科は内科と外科ですが、福島県立医科大学会津医療センター附属病院から医師派遣をいただき、整形外科、耳鼻いんこう科、精神科(心身医療・もの忘れ外来)、皮膚科、ペースメーカーの専門外来も行っていきます。

また、「へき地医療拠点病院」として、当院から管内の国保診療所(柳津町、金山町)へ診療応援に行っています。地域の皆様の健康が維持されるよう、地域の診療所や保健福祉施設、会津若松市内の総合病院や会津医療センターと連携しながら、当院で可能な検査、治療は当院で行い、専門的な治療が必要な場合には総合病院等に速やかに紹介し、患者様に適切な治療を受けていただくことを念頭に置いています。

当院の基本理念である「心ある医療」を胸に、地域の皆様に信頼され、満足していただける病院を日々目指しています。

学習目標

【一般目標】

実習を通して、地域医療の実際を体験し、地域医療の課題を考える。

【行動目標】

- ・毎日の行動記録と指導医からの評価・助言
- ・地域医療の実際を体験し、課題を見つけ、その解決策を考える。
- ・医師として、基本的な診療態度を身につける。
- ・倫理的診断と治療方針を立てられるようにする。

テキスト	特に指定なし
参考書	医局にある図書を閲覧可
評価方法	レポート提出により、総合的に判断します。
その他(メッセージ等)	希望に合わせて実習内容の検討や個別の対応を行います。

実習計画／担当指導医等

【実習計画】

午前: 外来や検査の実習 午後: 入院実習、訪問診療、施設回診、へき地診療所への診療応援

主な内容

- ・入院診療については、急性期病院から急性期後に転院してくる患者の診療
- ・多職種及び家族とともに今後の療養方針を検討し、療養の場の選定と実施にむけた退院調整
- ・在宅復帰する患者については、外来診療と訪問診療、訪問看護との連携、ケアマネージャーによるケアマネジメント(介護部門)との連携
- ・特別養護老人ホームの回診同行
- ・管内の国保診療所への診療応援と診療所医師との連携
- ・地域における学校医や保健行政活動
- ・院内健康教室や出前講座開催時の参加

実習開始時間 8時30分
 実習終了時間 17時15分

【実習担当指導医】

科長: 小山大輔、医長: 五十嵐亮、医員: 山元勝悟